令和８年度 群馬県中之条町での
森林整備体験学習報告書

令和８年６月６日(土)～６月７日(日)



北区 環境部 環境政策課

ゼロカーボンシティ
北区 2050

目　次

１　群馬県中之条町での森林整備体験学習について・・・・・・・・・・P．１

２　参加者について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P．２

３　概要及び行程表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P．３

４　参加者講評・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P．１０

５　報告会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P．１２

６　参加者報告書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P．１３

※　本報告書に掲載している写真は、北区が記録のために撮影した写真及び中之条町から提供された写真を使用しています。

１　群馬県中之条町での森林整備体験学習について

北区と中之条町は、中之条町内の森林整備を実施することによる地球温暖化対策の推進や、森林資源を活用した連携事業の実施による地域間交流の促進を目的に、令和６年３月２８日付で「北区と中之条町との森林整備の実施に関する協定」を締結しました。

これを契機に、北区環境基本計画 2023 の重点施策として掲げている「自治体連携による森林整備の取り組み」を推進するため、森林整備及び森林資源を活用した連携事業を実施することとしました。

今年度の体験学習は、北区内在住・在学の小学５・６年生１１名が参加し、地元の子ども達とともに令和８年６月６日（土）から６月７日（日）の２日間、間伐体験や木工体験等を通じて地球温化対策として森林の重要性を学び、また相互交流を深めました。

体験学習後は、北区内で北区参加児童による報告会を行い、体験学習での思い出や環境問題に対して考えたこと、さらに今回の体験を通じて自身の行動が変わったことなど、それぞれの視点で発表しました。

City of Kita

中之条町
Nakanojo Town

２　参加者について

◆　北区内在住・在学の小学５・６年生１１名が参加

〈内訳〉

小学５年生　５名

小学６年生　６名

◆　中之条町内在住・在学の小学５・６年生３名が参加

〈内訳〉

小学５年生　２名

小学６年生　１名

3　体験学習の概要及び行程表

プログラム内容	

【６月６日（土）】

07:30～07:45　参加者集合（北区第一庁舎正面玄関）

07:45～11:00 中之条町へバス移動（三芳PA、上里PAにて休憩）

- 北区職員、中之条コネクト、学生スタッフから自己紹介を実施。
- 車内において注意事項等のガイダンスを実施。
  その後、しりとり等アイスブレイクを実施。



11:00　中之条町役場　到着

11:00～11:30　ガイダンス

- 課長吉田より挨拶。二日間の流れ、注意事項、スタッフ紹介を実施。
- 中之条町参加者も加わり、森林に関するクイズを数問出題した。
- 探検ブック等の説明を実施。



11:30～12:15　昼食

- 中之条町産のお米を使ったお弁当。





12:15～13：00　移動準備、移動

- 時間に余裕があったため、道の駅にてお土産購入。

13：00～14:00　植樹活動（講師：小板橋 氏）　＠北区の森

- 講師の小板橋氏より、木(楓)の成長過程について講義。
- 今回植樹する木(楓)の種類と、森が育ち活用されるまでの年月について等5分程度講話いただいた。
- 3班に分かれ、植樹体験を実施。子ども2人に対しスタッフ1人がサポートするようにし、安全に注意して実施。ポット苗に変更したことにより、昨年より多くの苗を植えることができた。
- ポット苗を一つひとつ丁寧に植えることで、自分たちの手で森づくりに関わることの大切さを学んだ。環境を守ることを自分自身のこととして考えるきっかけとなった。
- 植樹エリアで集合写真を撮影。









14:00～14:20　移動

- 「北区の森」から「ふれあいの森」へバス移動。
- お手洗いを済ませ、講師、スタッフが子ども達の間に入り、安全に注意しながら登山を実施。
- ヒル対策として、長袖長ズボン、虫除けスプレー、ヒルバスター等を実施。



14:20～16:20　間伐体験　（講師：檀原氏）　＠ふれあいの森

- 講師の檀原氏より、森林整備をする理由等を5分程度講話いただいた。森に手を入れる理由、森を守る理由を子ども達へ伝えた。
- 講師の檀原氏よりチェーンソーを使用した間伐のデモンストレーションを実施。
- 安全対策として、ロープを使用して倒木方向とは異なる方向からひっぱり、伐木を実施した。
- 倒木と一緒に集合写真を撮影。









16:20～16:40　　移動準備、移動

- 「ふれあいの森」から宿泊先の「四万グランドホテル」へ

17:00　　四万グランドホテル　到着

- 基本的な子ども達の移動は、スタッフが同行し、迷子や抜け出し等のリスクを回避した。
- 部屋の配置は、スタッフの部屋を子ども達の部屋と隣接させ、一般客との接触リスクが低い配置とした。

17:30～18:30　　夕食

- 一般利用客への配慮を行いながら、バイキング形式の夕食。
- 看護師も同席のもと、アレルギーに注意し食事を行う。



18:30～19:30　　お風呂

- スタッフ同行のもと、一般利用客への配慮を行いながら誘導。

20:00～21：00　リフレクション、振り返り

＜リフレクション＞

- 3グループに分かれアイスブレイクを実施。お互いのことを知るために、他己紹介クイズを実施。
- リフレクションでは3グループに分かれ、会場全体にカラーマーカーを配置し、すごろく形式で実施。マス目を、「今日の学び」「中之条のPR」「クイズ」等様々なマスを用意し、「学び」と「交流」を促した。



＜振り返り＞
- ３班に分かれて「森林整備体験学習ワークシート」を作成
- 各活動ごとに発表代表者を決める。
- ２日目の各活動については、宿題として報告会までに記入していただくようにした。



21:00～22：00　就寝準備・就寝
- リフレクション後に、部屋に戻り、歯磨き等の就寝準備を促した。22時までは、フリータイムとした。22時には、消灯した。

22：00～06:00　夜間見回り
- 委託業者中之条コネクトが実施。

【６月７日（日）】

06:30　起床（朝の準備）

07:00～07:45　朝食
- 一般利用客への配慮を行いながら、バイキング形式の朝食。
- 看護師も同席のもと、アレルギーに注意し食事を行う。

07:45～08:30　移動準備
- 各自荷物をまとめて、出発準備を行う。

8:30～9:00　移動
- 「四万グランドホテル」から「木材活用センター」へ

09:00　木材活用センター 到着

09:00～10:00　木材活用センター　見学　（講師：株式会社ユハラ 村上氏）

- 安全対策としてヘルメットを着用した。
- 木の駅プロジェクトにて運び込まれた町内産木材の説明を実施。
- ツインバンドソー、乾燥機、チッパーの見学の実施。
- ツインバンドソーを稼働させ、見学を実施。




10:00～12:15　木工体験（講師：関氏）@木材活用センター

- 講師の関氏による木工機械のデモンストレーションを実施。安全対策としてカラーコーンとポールを設置し、近づかない様注意した。
- 角材、板材を利用して木製ティッシュボックスを作製した。
- 鋸を使用して木材を決められた大きさに切り、土台を釘、ボンドを使用して組み立て、ウッドバーニングにてティッシュの板に好きな絵を描く、という手順で進めた。




12:15～12:45　昼食




12:45～13：10　リフレクション

- 「いいところカード」を用いて、今回出会った友達のいいところをお互いに書き合うことで、ともに活動した子ども達同士が記憶に残るよう振り返りを実施した。

13:10～13：30　解散式、記念撮影

- 課長吉田より挨拶。
- 記念品として、木材を使用した修了書を授与。集合写真を撮影。



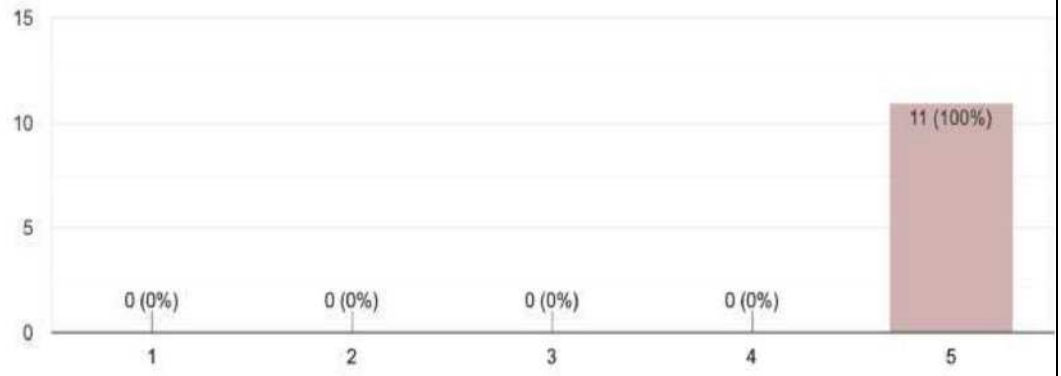
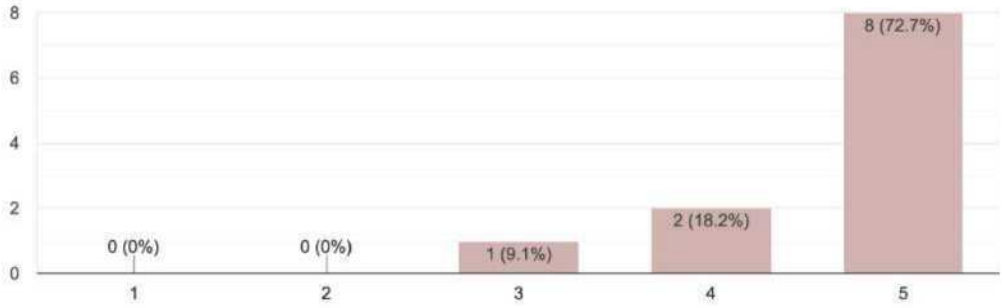
13:50　木材活用センター　出発

13:50～18:00　北区役所へ移動（上里PA、三芳PAにて休憩）

- 渋滞により、予定（17:30）より遅れて到着

18:00　見送り、解散

4　参加者講評

講評	**アンケートの収集** プログラム終了後、事後アンケートと当日の写真を格納したGoogleフォトを送信した。 **以下アンケート結果抜粋** プログラム全体の満足度を教えてください。 11 件の回答  ＊1「不満足」5「大変満足」 林業や森林環境に対する理解度は高まりましたか？ 11 件の回答  ＊1「以前と変わらない」5「高まった」 もし次回のプログラムがあれば参加したいですか。 11 件の回答 

	【アンケートにおける感想の抜粋】 ・　中学生バージョンの森林整備体験があったらいいなと思いました。 ・中学生になっても参加したいです。 ・みんな優しくて、すぐに仲良くなれて良かったです。 ・個人では体験できない、貴重な体験ができました。とても楽しかったです。ありがとうございました。 ・2日とおして森林に対する意識が変わったと思う。また、スタッフの方々がとても親切に教えてくださり、楽しく体験学習ができた。来年は参加することができないが、中学生用のプログラムがあれば、ぜひ参加したい。

５　報告会

◆　報告会

日時　　令和８年９月６日（日）
　　１１時３０分～１２時３０分
場所　　北とぴあ　７階　第二研究室
内容　　体験学習について報告（１グループ３分程度）

体験学習の思い出や環境問題に対して考えたことを報告書にまとめました。また、体験学習中に振り返りの際に記入したワークシートをもとに、グループ内で活動ごとに分担し、発表を行いました。

東京家政大学の宮本教授からは、「今回の体験では、ネットでは得られない、実際に土や木に触れたからこそ分かる感覚や知識を学んでくれました。また、木を育て、ものを作る人々の存在を知ることで、人との関わりや協力することの大切さを知るきっかけになったと思います。今回の体験で得た学びを、遠くの地域で行われている無関係なこととせず、今後の力として活かしてほしいです。」との講評をいただきました。

～報告会の様子～







６　参加者報告書

◆　参加者氏名の五十音順で報告書を掲載しています。

※　原則、原文・自筆のまま掲載していますが、薄く見えづらい文字は、上からなぞる修正等を行っています。

群馬県中之条町での森林整備体験学習　報告書

「体験学習の思い出や楽しかったこと」「環境問題に対して、今後生活の中でやってみようと思ったことや考えたこと（体験学習に参加したことで、地球温暖化を防ぐために今後○○をやってみようと思った など）」を教えてください（４００字以内。）

参加者氏名　秋山武虎

中之条町で学んだこと

今回の森林整備体験学習に参加して、森林の大切さがよく分かりました。

森林は自然災害や地球温暖化を防ぐことができます。ですが地球上の全陸地面積に森林は三十一パーセントしかなく、さらに木を植樹してから育つまで四十年もかかるので木から造られた家具などを大切に使いたいと思いました。

植樹体験ではたくさんのなえ木を植えて活やくすることができました。木こりの方から「しょう来ここで働いてほしい。」と言われたことがとてもうれしかったです。

二中之条町の森林整備を体験して森林整備は伐採して植樹するだけではなく、資材の有効活用も大切だと知りました。森林についてもっとくわしく学んで地球温暖化対策を考えこうけんできる人になりたいです。

20 × 20

群馬県中之条町での森林整備体験学習　報告書

「体験学習の思い出や楽しかったこと」「環境問題に対して、今後生活の中でやってみようと思ったことや考えたこと（体験学習に参加したことで、地球温暖化を防ぐために今後○○をやってみようと思った など）」を教えてください（４００字以内。）

参加者氏名　飯島　泉

私が森林整備体験学習で思い出にのこったことは二つあります。

一つ目は植樹体験です。なぜなら、去年体験した人が植えたものがすごく大きくなっていたので、来年も参加できたら今年自分が植えた木を見てみたいからです。

二つ目は木工体験です。なかなか木などの自然のものを使って何かを作ることはなかったので、のこぎりで木を切ったりするのが大変だったけどすごく良い物ができたのでうれしかったです。

私は森林整備体験学習に参加して地球温だん化をふせぐためには木を植え、その木が二酸化炭素をすってもらうことが大切だと思いました。また、木を植えることも大切だけど木も切ることも大切だと思いました。

体験をしている中で、感じたことは林業にたずさわっている人は木を切ったりして、とても大変なことが良く分かりました。

20 × 20

群馬県中之条町での森林整備体験学習　報告書

「体験学習の思い出や楽しかったこと」「環境問題に対して、今後生活の中でやってみようと思ったことや考えたこと（体験学習に参加したことで、地球温暖化を防ぐために今後○○をやってみようと思った など）」を教えてください（４００字以内。）

参加者氏名　家田 幸奈

私がこの体験学習をして一番楽しかったことは木工体験です。私は、中之条町で木工体験をするまでは木で何かを作ったりすることはあまり得意ではなくて、木工体験をする前には少しやりたくないという気持ちでした。でも実際にやってみたら、すごく楽しくて時間があっというまにすぎていました。最近は学校で木を使って工作をするときに友だちや、先生からほめられることが多くなり、今では木工作が大好きになりました。中之条に行って新しい友だちもできたし、色々な体験もできたのでうれしかったです。私たちが日常生活であたりまえのように使っているテーブルや、イス、ほかにもたくさんの家具は、多くの人が時間をかけて作っていると知って、改めて作った人へのかんしゃの気持ちをこめて物を大切に使おうと思いました。この体験は自分にとって新しい体験となり、中之条で体験したことをわすれずに生活に活かしていきたいと思いました。

20 × 20

「体験学習の思い出や楽しかったこと」「環境問題に対して、今後生活の中でやってみようと思ったことや考えたこと（体験学習に参加したことで、地球温暖化を防ぐために今後○○をやってみようと思った など）」を教えてください（４００字以内。）

参加者氏名　大津　朔良

僕は、色んな人との交流を通して、人との関わり方、他にも仲良くなる方法だったり、知らなかった、知ろうとしてなかったことで知ることができました。

楽しかったことは、強いて言うなら、植樹体験です。木を植えるのが楽しかったです。僕が植えた苗木が大きく成長して、森の一部になる…そう考えるだけでうれしくてたまらないのです！

T度学校で、植物が二酸化炭素を吸って、酸素を吐く、と習いました。植物がなかったら、僕たちはどうなるのでしょう。

植物がなかったら、水もなければ、地球温暖化も悪化し、さらに二酸化炭素も増え、人や動物は二酸化炭素を吸いすぎて死んだり、病にかかるかもしれません。それほど、植物は僕たちに必要なのだと考えました。

僕は、大切な植物を減らさないために、育てている植物には必ず水をあげたり、良い環境で育てたりして、かかさないようにします。

20 × 20

群馬県中之条町での森林整備体験学習　報告書

「体験学習の思い出や楽しかったこと」「環境問題に対して、今後生活の中でやってみようと思ったことや考えたこと（体験学習に参加したことで、地球温暖化を防ぐために今後○○をやってみようと思った など）」を教えてください（４００字以内。）

参加者氏名　青柊　咲葉

私が学習の中でたのしかったのは、植樹体験です。理由は、スコップを、あつかうのには、力が必要だったけれど、上手く植樹出来たと思います。環境問題に対して、今後生活の中でやってみようと思ったことや、考えたことは、木の大切さを、もっと今後の社会のじゅ業などで、まなんでいけたらなって思ってます。そのほかにも、木は、身近にある物だけれど、人間の生活のたすけになってくれる、そんざいだと気づきました。そして、家庭科でなろった、3つのRのリサイクル・リデュース・リユースが大切だと学んだので、木でも、同じなんだと思いました。また、こうゆう植樹などの体験があったら、やってみたいです。

20 × 20

群馬県中之条町での森林整備体験学習　報告書

「体験学習の思い出や楽しかったこと」「環境問題に対して、今後生活の中でやってみようと思ったことや考えたこと（体験学習に参加したことで、地球温暖化を防ぐために今後○○をやってみようと思った など）」を教えてください（４００字以内。）

参加者氏名　駒田 竣祐

僕が中之条で学んだことは、三つあります。一つ目は、伐採のことです。森は、木が生えすぎたら日光が遮られてしまい、苦い木が育ちにくくなることです。また、年を取った倒れやすくなるので切るのですが倒れる方向を計算して切ることが分かりました。

二つ目は、植林のことです。災害があったり年を取ったりしたら倒れやすくなるので切ってそのままにしていたら地球温暖化の原因になってしまうから植林をするのが分かりました。三つ目は、木材は、いろいろなものに加工できることです。僕は、この体験までは、加工した後のはじにすていたかと思いましたがこの体験でチップに加工していることが分かりました。

僕が中之条で楽しかったことは、いろいろな人と会話をしたことです。部屋の人達と一緒に会話してガールズゲームをしたことが一番の思い出です。中之条では、植林、伐採、木の加工などのことがよく分かりました。

20 × 20

群馬県中之条町での森林整備体験学習　報告書

「体験学習の思い出や楽しかったこと」「環境問題に対して、今後生活の中でやってみようと思ったことや考えたこと（体験学習に参加したことで、地球温暖化を防ぐために今後○○をやってみようと思った など）」を教えてください（４００字以内。）

参加者氏名　田中小百合

私が楽しいと思ったことは植樹体験と木材活用センターの見学です。

まず、植樹体験は自分が森林整備をしていると実感出来ました。私が植えたイロハモミジがバイオリンになるかもしれないと思うと木の行く末がとても楽しみです。

次に木材活用センターですが様々な思いつけない工夫と普段は見ない大きい轟音の機械が存在していてとてもびっくりしました。このような物が木につかわれていてあらためて木の重要性を深く知りました。

私は生まれも東京なので自然とふれあう機会はあまりありません。でも、点々と残っている自然や木を大切にしていきたいです。また、遠くても群馬県中之条町とのつながりを感じました。森林には水をためる役割や空気をきれいにする役割の他にも昔から人と人、土地と土地をつなげる役割があるようです。人類共通の問題にも、個人的な問題にも木が少しずつ解決してくれると思います。

20 × 20

群馬県中之条町での森林整備体験学習　報告書

「体験学習の思い出や楽しかったこと」「環境問題に対して、今後生活の中でやってみようと思ったことや考えたこと（体験学習に参加したことで、地球温暖化を防ぐために今後○○をやってみようと思った など）」を教えてください（４００字以内。）

参加者氏名　平井佑樹

僕はこの森林整備体験学習で、木はCO2を減らすことができるということを学びました。植樹はたくさん木を植えることが大変でした。間伐体験では、ロープを引っ張って木を倒すことは知っていましたが、倒す体験は初めてだったのでドキドキしました。きちんと木に光が当たって育たないと、CO2を吸収してくれないということを学びました。木材活用センターで、木のチップの山を登ることが楽しかったです。木を機械で切るところを見ましたが、とても早く木を切ることができ、すごいと思いました。木工体験ではティッシュケースを作りました。電動のこぎりで木を切ることが難しかったです。この体験を通して、間伐された木も使われているという事を知りました。もっと身の回りで使われてほしいです。

この森林整備体験学習を通して、木の大切さについて知ることができました。今後、木や草など緑を大切にしていこうと思いました。

20 × 20

「体験学習の思い出や楽しかったこと」「環境問題に対して、今後生活の中でやってみようと思ったことや考えたこと（体験学習に参加したことで、地球温暖化を防ぐために今後○○をやってみようと思った など）」を教えてください（４００字以内。）

参加者氏名　広田 哉壱

体験学習の思い出や楽しかったことはそれぞれ一つずつあります。

楽しかったことは、木工体験です。木工体験では、ティッシュ箱を作りました。作ったティッシュ箱に僕の好きな数式を書くことができたので楽しかったです。

体験学習の思い出はバイキングです。バイキングでは、僕の好きな食べ物が沢山あったり、ドリンクバーもついていて、印象に残りました。また、綿飴の食べ放題で、四本も食べたら「綿飴王子」と渾名をつけられたのも思い出に残りました。

環境問題に対して、やってみようと思ったことは、ポイ捨ての注意です。植樹体験の時に缶のゴミが落ちており、その缶のゴミが古いものだと分かった時には、ポイ捨てをしている人達に注意しないといけないと思いました。友達でも、平気にポイ捨てしている人達がいるので、積極的に注意し、ポイ捨てを少しでも減らそうと思いました。

20 × 20

「体験学習の思い出や楽しかったこと」「環境問題に対して、今後生活の中でやってみようと思ったことや考えたこと（体験学習に参加したことで、地球温暖化を防ぐために今後○○をやってみようと思った など）」を教えてください（４００字以内。）

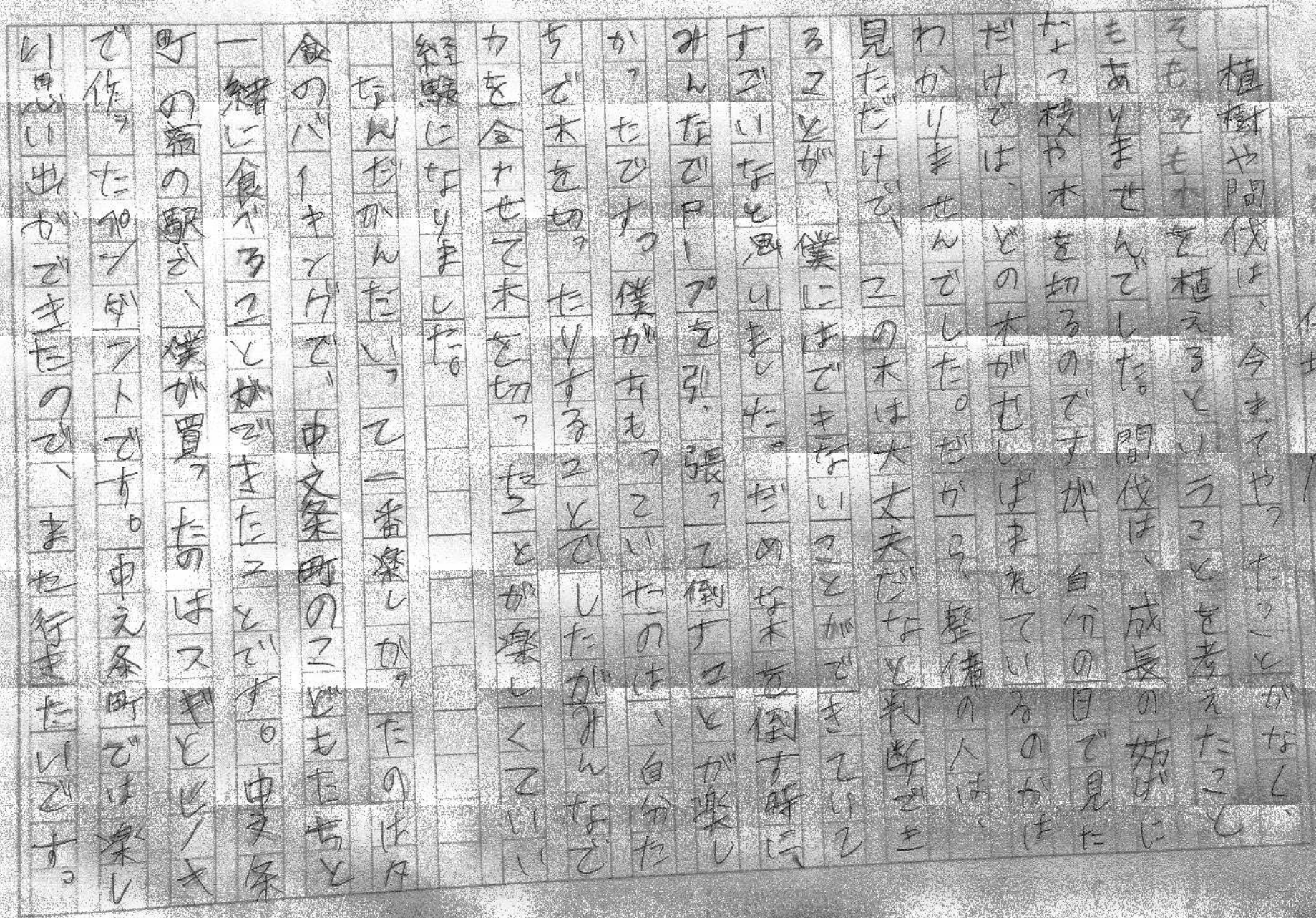
参加者氏名 藤原夏苗

私は体験教室に参加したことで、二つのことが特に心に残っています。一つ目は、森林整備をしてくれている方々は私達の安全や生活を豊かにするために働いてくれているということです。私は生活の道具として使うために間伐をしていると思っていました。しかし実際の木を見てみるとななめになっていて、もう少しでたおれそうな状態でした。また、現地の方の話でも急に木がたおれてきたら大変だからという理由でした。二つ目は去年、植えた苗木が大きくなっていたことです。私が去年、参加させてもらった時には細くグラグラだった枝が太くしっかりと根づいていてびっくりしました。また、四十年後には私達の生活の中で使われていると思うとうれしくなりました。この教室への参加は今年で最後になりますが、植樹を通じて役に立てたような気がしました。担当者の方、中文条の方、そして大学生のみなさん、本当に二日間、ありがとうございました。

20 × 20

群馬県中之条町での森林整備体験学習　報告書

「体験学習の思い出や楽しかったこと」「環境問題に対して、今後生活の中でやってみようと思ったことや考えたこと（体験学習に参加したことで、地球温暖化を防ぐために今後○○をやってみようと思った など）」を教えてください（400字以内）



植樹や間伐は、今までやったことがなく、そもそも木を植えるということを考えたこともありませんでした。間伐は、成長の妨げになった枝や木を切るのですが、白分の目で見ただけでは、どの木がむしばまれているのかわかりませんでした。だから、整備の人は、すごいなと思いました。だめな木を倒す時に、みんなで口ープを引っ張って倒すことが楽しかったです。僕がなもっていたのは、白分たちで木を切ったりすることでした。みんなで力を合わせて木を切ったことが楽しくていい経験になりました。

なんだかんだいって一番楽しかったのは丹念のバイキングで、中之条町のこどもたちと一緒に食べることができたことです。中之条町の駅で、僕が買ったのはスギとヒノキで作ったプラントです。中之条町では楽しい思い出ができたので、また行きたいです。

20 × 20

令和８年度 群馬県中之条町での
森林整備体験学習 報告書
令和８年１１月発行

刊行物登録番号
８－３－057

発　行　東京都北区環境部環境政策課
〒114-0002
東京都北区王子１－１２－４
ＴＥＬ（３９０８）８６０３（直通）